



教育振興だより

八幡平市教育委員会
教育振興運動推進事務局
令和3年3月号

三行詩コンクール 入選作品 決定!

協議会長賞

平舘高等学校

さとう じゅりあ
三年 佐藤 樹莉亜さん

スマホを見るとき
私の指は 少し慎重に動く
その「いいね」、
本当に押して「良い」のか

八幡平市の「三行詩」の取り組みは、今年7回目を迎えました。毎年、ほのぼのの温かい家族のきずなや地域のよさを表現した作品を多くの方々から寄せていただいています。今年の参加総数は696点となりました。

厳正な審査を経て、協議会長賞1、金賞5、銀賞15、銅賞16の37作品が決定しました。入賞確率5%の狭き門です。

協議会長賞の佐藤さんの作品は、短い言葉の中で情報の見極めの重要性を表現しています。児童生徒の皆さんにはこの詩のように、一度立ち止まる勇気を大切にしてほしいと願います。

今年度の作品の特徴として、やはり「新型コロナウイルス」の影響が挙げられますが、しなやかでたくましい発想に勇気づけられる思いがしました。

コロナのせいで おでかけできない
けど お父さんと料理して
おばあちゃんと畑仕事して
なんだか いつもより楽しいよ

寺田小4年 津志田優和さんの作品 (銅賞)

どこかに行けば不安だが
家族としょうぎで
うでがあがる



寄木小3年 吉田琉生さんの作品 (銅賞)

入賞作品が掲載された「入賞作品集」は各学校、各コミセン、図書館、市役所結の広場等で見るができます。また、作品は順次、八幡平市広報や八幡平市HPで紹介する予定です。

市教育振興運動推進大会 規模を縮小して実施!



去る2月20日(土) 午前9時30分から11時45分まで市役所大ホールで開催しました。コロナ禍での会場定員64名に合わせ、人数制限をして実施しました。

今年度のような稀有な状況下での地域活動は本当に難しいものです。報告者からは、行事の多くを中止したという苦勞とともに、限られた条件下で工夫して実施する姿も示されました。

(大会の概要は 裏面をご覧ください)

今年一年のご苦勞に対し、各実践区の担当の皆様にご感謝申し上げます。

開会行事	9:30	1 開会の言葉 (武田初太郎副会長)
		2 宮野朋士会長 挨拶
		3 祝辞 八幡平市長・議長
発表	9:45	大更実践区 発表
	10:00	平館実践区 発表
	10:15	五日市コミセン 発表
	10:30	 平館高等学校 発表
	10:45	講評(丹康浩社会教育主事)
	11:00	休憩
表彰	11:10	表彰・三行詩 ・児童生徒表彰
	11:25	教育委員会報告 (古川課長補佐)スマホ問題の核心は親子で話し合いをしているかどうか。親子で納得できることが大事。…………
	11:30	(西根第一中学校)
閉会行事	11:40	1 教育長挨拶
		2 閉会の言葉 (田村優美子 副会長)

「これまでの活動と今年度のコロナ禍での取組」
発表者：大更実践区教育振興運動推進委員会
大更実践区副会長 遠藤 武 敬さん
実践区常任委員 田村 真 紀さん

「コロナ禍における教育振興運動について」
発表者：平館実践区教育振興運動推進委員会
実践区副会長 高橋 直 さん
実践区事務局 鈴木 義 幸さん

「子育て環境 日本一を目指して」
発表者：五日市コミュニティセンター
安代地区班長 小山田 幸 雄さん
安代地区事務局 伊藤 義 幸さん

『「エコ活、はじめの一歩！～「ならでは」のマイバックへ続く道～』
発表者：岩手県立平館高等学校家政科学科 2年
伊藤 亜紀さん 上山 真穂さん 竹田 渚さん

報告「メディアとの付き合い方とルール」
西根第一中学校 2年 阿部 麻衣さん
須崎 聖良さん 高橋 希羽さん 松浦 亜実さん

講評 岩手県の児童生徒は地域行事に積極的に参加している。地域の人との交流は、児童生徒のコミュニケーション力や多様な価値観の育成につながる。八幡平市の教育振興運動はその育成を支えている。今後の継続を期待する。

第3回 常任委員会開催 3月5日

<主な内容>・令和2年度の活動状況報告とその総括⇒・令和3年度の方向性
<主なご意見>



- ・「推進大会」の会場について
市役所の利便性は高いが、今まで通り西根松尾地区と安代地区の輪番制を継続する
- ・「三行詩」の取組の充実について、田頭、平笠実践区の地域ぐるみの取組が参考になる
- ・「リーダー研修会」は、1回実施。今年度並みに課題意識が継続するように配慮する
- ・「情報メディア」の取組はボトムアップしていくようにしないと身にならない。子どもたち自身が考えることを重視する。また、各家庭によって事情が異なるため(共働き、夜勤など)、一律なルール作りは難しい。